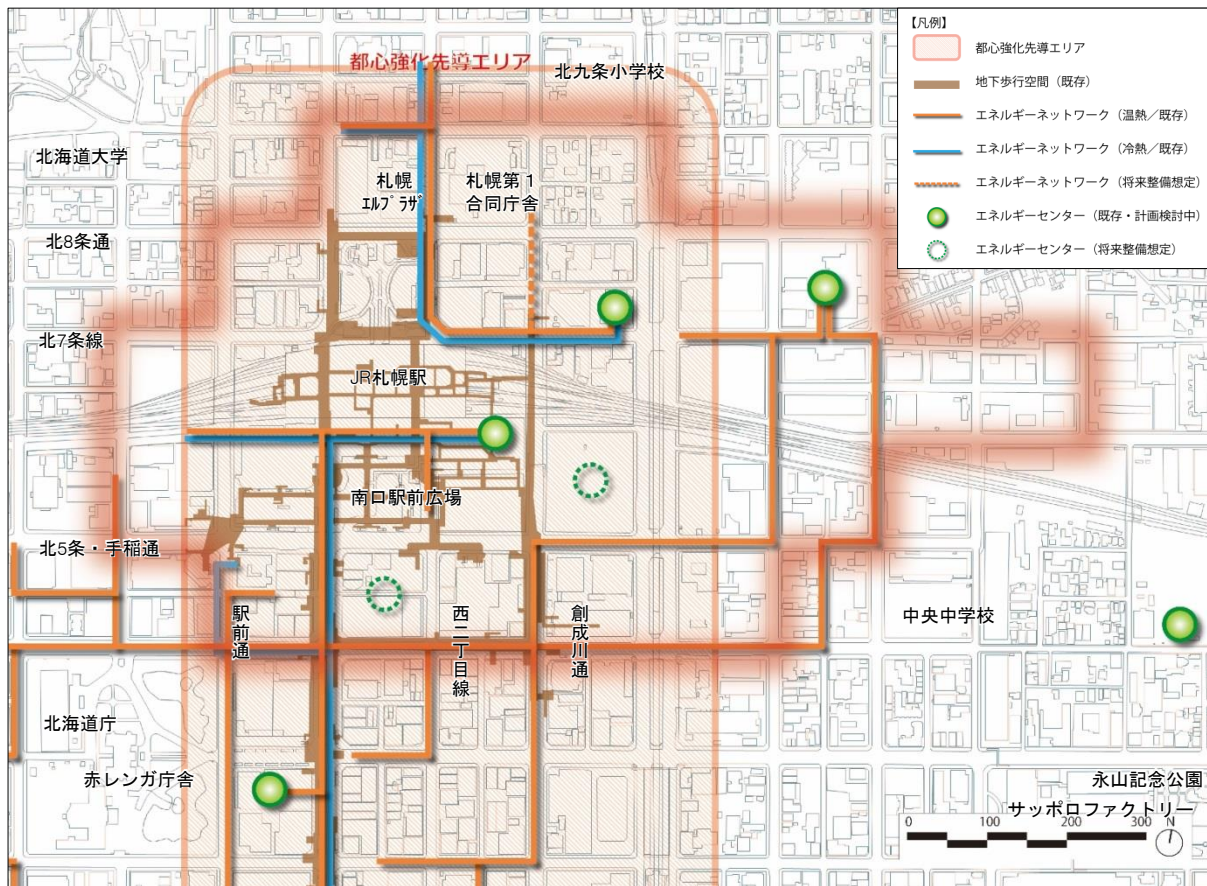


4. 環境配慮・防災

低炭素で強靱なまちづくりの推進

- ・ 地域冷暖房ネットワークが整備されている
- ・ 地下歩行空間は一時滞在施設としての機能も有している
- ・ 環境負荷低減への対応を強化する必要がある
- ・ 災害時の滞留者等への対応を強化する必要がある



現状・課題

1) 低炭素で持続性が高く、みどり豊かなまちづくりを実現する

- ① 省エネビル化への誘導
- ② スマートなエネルギーの面的利用の拡大の検討
- ③ みどり豊かで快適な屋外・屋内環境の形成
- ④ モデル都市としての情報発信

2) 強靱で安全な都市環境を形成する

- ⑤ 業務継続性の向上
- ⑥ 安全な都市環境の形成

取組の方向

取組の方向1) 低炭素で持続性が高く、みどり豊かなまちづくりを実現する

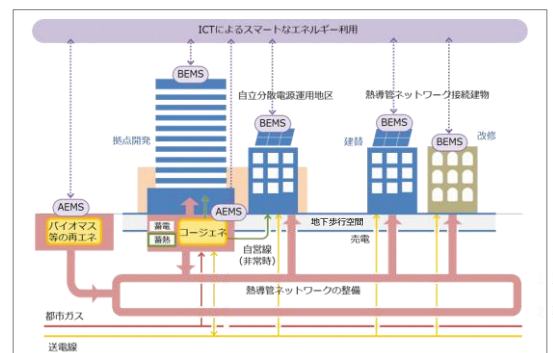
- ・エネルギーネットワークの活用・拡大により、環境にやさしく、快適な環境形成を図ります。
- ・先進的な環境技術を取り入れ、環境負荷の低減を図ります。
- ・まちづくりに合わせて豊かなみどりの創出を図ります。

① 省エネビル化への誘導

- ▶ 建物の建替や改修時に合わせて低炭素で持続可能なまちづくりを推進するために、札幌市独自の「誘導推進制度」の構築を検討します。
- ▶ 都心部におけるまちづくり施策と連携しながら、最適な省エネ対策の誘導を図ります。

② スマートなエネルギーの面的利用の拡大の検討

- ▶ 整備・運用のあり方などを検討した上で熱導管ネットワークを構築し、周辺の建物の建替に合わせてネットワークとの接続を図ります。
- ▶ ICTの活用等による、エリアでのエネルギーマネジメントの実現を図ります。



エネルギーの面的利用のイメージ
(出典：札幌市都心エネルギーマスタープラン)

③ みどり豊かで快適な屋外・屋内環境の形成

- ▶ 道路などの公有地のほか、民間開発に合わせて質の高いみどりを確保するなど、多様な緑化空間の整備により、都心のみどりのネットワークの形成を図ります。
- ▶ ヒートアイランド抑制に向けた緑化、親水空間の形成を図ります。
- ▶ 低炭素で効率的なエネルギー利用を進めながら、みどりを感じられ、快適な屋内空間の形成を図ります。



多層階にみどりを配置した多様な緑化のイメージ



1年を通じてみどりが感じられる屋内空間のイメージ
(アトーチャ駅(スペイン))

④ モデル都市としての情報発信

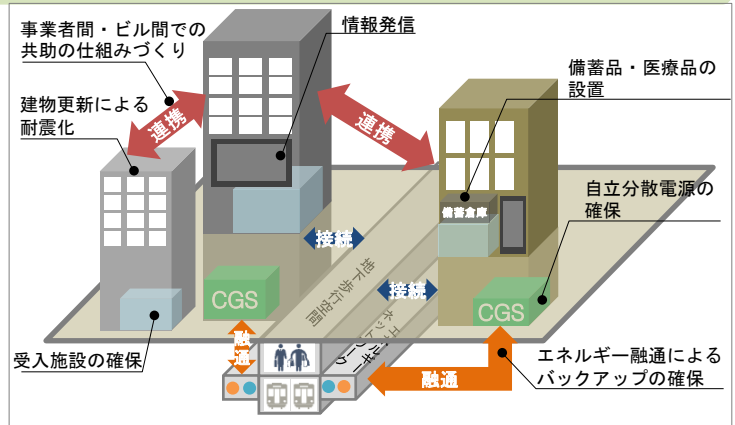
- ▶ 先進的な環境技術を見える化し、環境負荷が少ないまちづくりに向けた取り組みを国内外へ発信するショーケースの整備を図ります。

取組の方向 2) 強靱で安全な都市環境を形成する

札幌への来訪者や居住者が安心して活動・生活できる、強靱で安全な都市環境を形成します。

⑤ 業務継続性の向上

- ▶ 建物更新による耐震化や、自立分散電源の確保、浸水対策等による、防災性の向上を図ります。
- ▶ 災害情報や避難情報の積極的な発信や、エネルギーネットワーク間におけるエネルギーの融通を可能にするなど、ビル間での連携した共助の仕組みづくりを推進します。

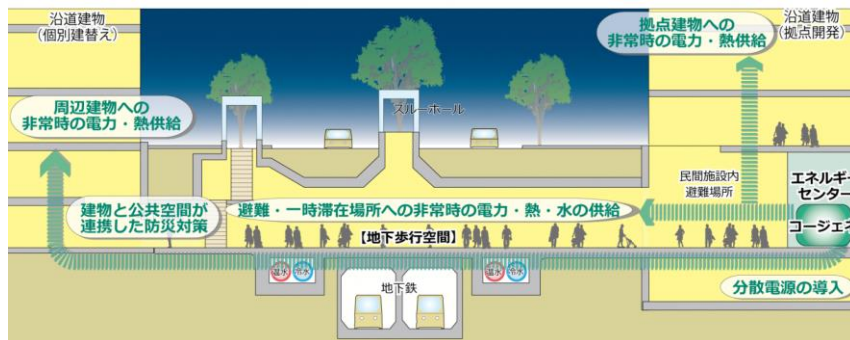


業務継続性のためのビル間連携のイメージ

⑥ 安全な都市環境の形成

- ▶ 地下歩行空間のネットワーク化や地上道路部等のロードヒーティング化、空中歩廊の整備等による、冬季も安全に歩行できる空間の整備を推進します。
- ▶ 建物の更新等に合わせて、冬季の災害発生も想定した防災環境の整備を推進します。
- ▶ スマートシティ（※）を目指して、ICT等の先進的な情報通信技術を活用します。
- ▶ 災害発生時に、一時滞在施設への誘導等を迅速に行えるよう、施設に関する周知や関係者間で情報共有ができる体制の構築を図ります。

※スマートシティ：先進的な情報通信技術を用いて安全で快適かつ効率的に交通やエネルギー、情報などの都市基盤を管理・運営する都市のこと。国内では千葉県柏市の柏の葉地区等において、取組が進められている。



都心強化先導エリアにおける「強靱」の取組のイメージ
(出典：札幌市都心エネルギーマスタープラン)